

令和7年度秋田県立大館少年自然の家第1回協働会議（5月19日開催）

1 日 時 令和7年5月19日（月）午後2時00分～午後3時40分

2 場 所 秋田県立大館少年自然の家 視聴覚室

3 出席者

【委 員】

長岐公二（会長）、渡辺俊春、月居裕二、福原良英、安部芳範、
鳥潟美奈子、大野美佐子

【大館少年自然の家】

田村所長、北林副主幹（兼）チームリーダー、石黒主査、
成田主任社会教育主事（兼）チームリーダー、
渡部社会教育主事（兼）シニアエキスパート、高杉社会教育主事

【教育庁生涯学習課】

渡辺主任社会教育主事（兼）サブリーダー、佐藤社会教育主事

4 議事概要

（1）開会

（2）大館少年自然の家所長あいさつ

（3）教育庁生涯学習課長あいさつ（代読）

（4）会長あいさつ

（5）報告・協議

①報告

- ・令和7年度経営方針等について
- ・施設設備の状況について
- ・令和6年度利用状況、主催事業等について
- ・令和7年度主催事業、研修団体等について

②協議

- ・テーマ

「50年積み重ねてきた価値とこれから先に期待すること」

（6）閉会

5 委員からの主な意見

- ・総務チームと指導チームが一緒になってチーム一丸となって利用団体に対応していると感じた。
- ・2030ビジョン～みんなが笑顔・幸せになるわんパーク大館～笑顔で接することは重要なため、笑顔にするための方策を学べた。
- ・大館市にある唯一の県立の生涯学習施設であるので、経費等はかかると思うが存続していただきたい。
- ・スポーツ少年団の各団で宿泊の練習会等があるので、様々ななかたちでバックアップしたい。
- ・放課後こども教室では自然の中で外遊びをさせたいので、今年度も出前講座をお願いしたい。
- ・少子化はしかたがないと思うが、少ないなりにも体験活動を充実させて自然の家を運営してほしい。
- ・一般企業の利用を促進させるため、アピール方法等を工夫してほしい。
- ・少子化のため、逆に狭くキャリア形成を考える発想も良いのではないか。